

<p>a 学校教育目標</p>	<p>郷土を愛し、 自らの役割を見つけ、 全力で伸びようとする児童の育成</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p>【ミッション】(自校の使命)「知・徳・体」の基礎基本を身につけ、郷土の発展を願う児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像)・児童の主体的に学ぶ力を育成し、基礎学力を定着をさせる学校 ・きまりを尊重し、自他を大切にしながら健康でたくましく活動する児童を育成する学校 ・郷土のよさと課題を知り、その発展のために、地域に尽くす児童を育てる学校</p>
-----------------	--------------------------------------------------	------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価計画					自己評価				改善方策	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	9月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント
					h 達成	h 達成					イ	ロ	ハ	
<p>確かな学力の向上</p> <p>児童の主体的に学ぶ力を育成し、基礎学力を定着をさせる</p>	<p>「問い」がつながる学習に必要なスキルの習得</p>	<p>1 学習意欲を高めるために、導入や学習内容を工夫する。 2 「つきたい力」や「本時のゴール」を児童と共有する。 3 総合的な学習の時間におけるプロジェクト型学習の実践を通して、習得したスキルを活用させる。</p>	<p>・単元目標に明示したつきたいスキルの習得状況</p>	<p>つきたいスキルを習得した児童の割合 80%以上</p>	92%		115%	A	<p>○導入の工夫等、学習意欲を高める授業づくりを推進した。また、学習の初めに「つきたい力」や「本時のゴール」を共有した。 ○総合的な学習の時間において、プロジェクト型学習を推進したことで、児童は、解決方法を自ら考えたり、表現の仕方を工夫したりするようになった。</p>	<p>○「広島県立教育センター学校サポート」事業等を活用し、本校の実態に合った複式学級授業スタイルを確立することで、児童が主体的に学習し、これからの社会に必要な資質・能力の育成を図っていく。</p>	○			<p>少人数指導における学習規律が身につけられており、意欲的に学習に取り組んでいる。</p>
	<p>学習リーダーを中心に、児童同士で学び合いながら課題を解決する力を育む</p>	<p>1 授業開始時刻に必要な用具を揃えて学びモードをスタートすることの徹底 2 間接指導時間中、学習リーダーの指示により集中して学ぶ雰囲気醸成 3 ICT機器及びソフトを効果的に学びに組み込む</p>	<p>・必要な学習用具が揃った授業の割合 ・チャイムに合わせて授業を実施した割合 ・学習リーダーの進行に協力し授業に参加した児童の割合</p>	<p>各90%以上</p>	84% 92% 92%		98%	B	<p>○多くの児童が、授業後次の授業の準備を行っている。 ○時間通り授業を行うことができているが、大休憩や昼休憩の後は、開始が遅れることがある。 ○多くの児童が学習リーダーに協力して授業に参加している。</p>	<p>○学習ルールを効果的に掲示したり価値づけたりすることで、児童が進んで学習する授業スタイルを確立する。 ○研究部で学習リーダーの役割や授業パターンを作成し、組織的に取組を進める。</p>	○			
<p>豊かな心と健やかな体の育成</p> <p>きまりを尊重し、自他を大切にしながら、切磋琢磨し合う学校風土を醸成する</p>	<p>他者の良さや頑張りに気づき、認め合う雰囲気の醸成</p>	<p>1 定期的に、お互いの頑張り等を紹介し合う場を設定する。 2 他者の良さや頑張りを見つけた数を見える化したり、奨励したりする。</p>	<p>・他者の良さや頑張りを月に1つ以上見つけ紹介した児童の割合</p>	<p>達成児童 80%</p>	85%		106%	A	<p>○児童朝会や全校朝会等において、自分たちの行動を振り返り、お互いの良さを共有する活動を行ったことで、達成感や自己肯定感が向上した。</p>	<p>○児童会を中心に、児童主体の活動を計画、実施、評価させることで、お互いの努力や良さを認め、自己肯定感を高めていくようにする。</p>	○		<p>互いに関わり合いながら長所を認め、励まし合う姿が見られる。</p>	
	<p>自身の立てた目標に向けて、努力を惜しまない児童の育成</p>	<p>1 目標を立て、その達成に向けて努力を要する時間を設定する。 2 目標と取組状況を見える化し、お互いの状況を確認したり、認め合ったりする場を設定する。</p>	<p>1年間の目標を立て、継続的に努力した児童の割合(観察・アンケート)</p>	<p>達成児童 80%</p>	100%		125%	A	<p>○各学期ごとに目標を設定し、月末等に自己評価や他者評価をしながらフィードバックしたことで、児童は目標達成に向けて主体的に行動した。 ○児童一人一人の伸びを個々に把握するまでには至っていない面もあった。</p>	<p>○目標に対しての取組状況を個々に振り返りをさせることで、自己の努力や成長に気付かせたり、自己評価力を育成したりする。 ○巡回指導やSC等を活用し、児童が自分を見つめる活動と指導、支援を継続的に行うことで、児童の自己変容を図っていく。</p>	○			
<p>信頼される学校</p> <p>佐木島の学校として地域住民の心の拠り所となり、必要とされる存在となる</p>	<p>本校に対する住民等の関心の持続・向上</p>	<p>1 児童のメッセージ、学校生活の様子等を地域に発信する。 2 島内三地区に定期的に出向き、島民との交流活動を行う。</p>	<p>・学校からの情報発信への満足度 ・公開(発信)した内容(情報)への関心度</p>	<p>町内会・区役員及び学校評議員へのアンケート肯定的評価90%以上</p>	100		111%	A	<p>○合同運動会等において、島民との交流を行っている。今後、さぎっ子太鼓を各地区に披露する。 ○「すぐー」や「さぎぐらむ」等で、学校の様子を保護者や地域へ発信することで、学校教育活動への理解を深めた。</p>	<p>○町内会など島の各種団体等と連携し、「学校運営協議会」に準じた組織をつくり、学校を中心に島全体で子供たちの成長を支えるため体制を整える。</p>	○		<p>自ら地域に出向き、住民と言葉を交わす中で交流を進めている。</p>	
	<p>働き方改革を推進し、働きやすい職場環境を構築する</p>	<p>1 行事等の内容を精選し、効率的な業務を推進する。 2 各部・委員会において業務改善プランを策定し、実行する。 3 準衛生委員会等で各自の勤務時間外在校時間を確認し、業務の見直しやサポート体制を構築する。</p>	<p>・学校全体の勤務時間外在校時間平均値</p>	<p>・昨年度と比較し、昨年度より減少</p>	100		100%	A	<p>○日課表や業務の改善を行ったことで、全教職員が昨年度より勤務時間外在校時間が減少した。 ○準衛生委員会で、勤務時間や教職員の心身状態を確認しながらフォローし合える話し合いを行っている。</p>	<p>○ICT支援員と連携しながら、ICTを有効活用した業務効率化を推進していく。 ○各委員会、部会において、さらなる業務改善を進める。</p>	○			

【j: 自己評価 評価】  
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達)

【l: 学校関係者評価 評価】  
イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。